

平成30年3月13日

保護者 様

尼崎市立竹谷小学校
校長 荒木 伸子

学力向上について、今年度の取り組みと来年度に向けて

早いもので今年度もあと少しで終わりとなります。一年間、児童の学力向上に向けて、様々な取り組みを行ってきました。その取り組みを検討し、次年度に活かしていきます。来年度も本校教育にご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 毎年4月、全国の6年生を対象に全国学力・学習状況調査を行っています。結果におきましては、本校の全ての学力・生活実態を表すものではありませんが、この結果を踏まえ学力向上等に取組んできました。

(1) 平成29年度全国学力調査結果 正答率 (%)

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	算数 A (知識)	算数 B (活用)
本校	69	54	78	43
尼崎市	72	55	76	43
兵庫県	75	57	78	46
全国	75	58	79	46

(2) 児童質問紙による学習状況調査

本校の児童の実態 (意識)

- ・「学校のきまりや友だちとの約束を守る」に9割の児童が「はい」と答えている。
- ・「将来の夢や目標を持っている」では、ほぼ全員が「はい」と答えている。
- ・「みんなで協力してやり遂げてうれしい」という成功体験がある児童が8割いるが、平均的には下回っている。
- ・「自分によいところがある」では4割の児童が「いいえ」と答え、自尊感情の面で課題を感じる。
- ・テレビを見る時間やゲームをする時間を決めていない割合が高い。

学習面

- ・6割の児童が原稿用紙2～3枚に感想文や説明文を書くことに難しさを感じていない。尼崎・全国平均より上回る。
- ・自分の考えを書いたり説明したりすることは6割の児童が難しさを感じていない。尼崎・全国平均より上回る。
- ・人の意見を最後まで聞いたりすることに苦手意識がある。
- ・「新聞を読む」児童は尼崎・全国を下回るが、テレビやインターネットを通してニュースを見る児童が尼崎・全国平均を上回る。
- ・わからない問題に対して「最後まで解こうとする」意欲が低い。

2 今年度の取り組み

学力の向上を図るための取り組み

(1) 読書活動

読書タイム（８：２５～８：３５）は、1年生には、火・木曜日、地域ボランティアによる読み聞かせをしていただきました。図書の時間は、担任と読書力向上担当が連携して読み聞かせ、おすすめの本、調べ物学習等の充実を図りました。今年度は「読書通帳」にも取り組み、読み終えた本のページ数を「見える化」していきました。また、家庭と連携して、うち読書を2週間に一度15分親子読書を実施しました。保護者の方には負担かもしれませんが継続して行っているため、児童の読書への意識は高まってきています。

読書通帳 たくさん貯まった人		年間	
1年	秋田一樹 さん 34冊 阪本 空 さん 30冊 豊後結月 さん 29冊	5年	アタケン エセウ エアン さん 12706ページ 延原 剛行 さん 11205ページ 西井 美緒 さん 10243ページ
2年	白高はるひ さん 4103ページ 西山日和 さん 4018ページ 中村心智 さん 3276ページ	6年	立庵小春 さん 17193ページ 天城 咲良沙 さん 11721ページ 池 放佑 さん 11213ページ
3年	石橋 薄 さん 7301ページ 末廣楓樹 さん 6336ページ 横山 誠太郎 さん 5800ページ		
4年	上川 亜衣 さん 10849ページ 石田 玖琉実 さん 8900ページ 鐘ヶ江 愛美 さん 8296ページ		

(2) 計算タイムの実施（13：40～13：50）

目標を持って取り組むために、計算検定9回・修了検定1回行いました。学びの掲示板を活用することで検定の結果を楽しみにしている児童が今年度はさらに増え、掲示板の前で喜んだり、悔しがったりしていました。完全パーフェクトの児童が、13名いました。すばらしい計算力と集中力です。



(3) 作文タイムの実施

本校の児童の実態として作文や文章構成に課題があるため、金曜日の8：25～8：35を作文タイムとして、全校一斉にテーマに沿って文を書く時間に行いました。

(4) 学力補充の日、放課後学習

- ・学力補充においては、検定再テストや個別指導を行いました。
- ・放課後学習は保護者の方の了解を得て3，4年（算数中心）で取り組み、学習内容と家庭学習の定着を図ることができよかったです。

授業力向上を図るための取り組み

本校では、すべての教員が参加して国語の研究授業と事後研修会を6回行いました。講師は、尼崎市の元校長で1年から6年の系統性をわかりやすく、見通しを持った指導ができるよう助言をいただきました。日々の授業では、自分の考えを書き、考えを深めることができるような交流をめざし、授業改善アドバイザー、アクティブラーニング推進支援の元校長から指導を仰ぎました。そして、算数を中心に中学年では同室複数指導、高学年では同室複数指導や少人数指導など学習形態を工夫してわかりやすい授業づくりに取り組みました。また、6年生では1年間通して理科と社会の教科担任制を実施しました。

3 来年度に向けて

本校の児童の実態として語彙量にも課題があるため、水曜日の8：25～8：35をことばタイム（仮称）として、全校一斉に言葉にふれる時間にしたいと考えています。

家庭学習では、学習を振り返り、考えや学習内容をまとめるチャレンジノートがさらに習慣化していくよう学校と家庭がともに声かけをしながら進めたいと思います。

最後に、失敗しながらもみんなで協力してやり遂げたこと、子どもたちが主体的に取り組んでいくことから、成功体験やみんなで取り組んだからこそ味わえたという実感を積んでいけるようにしていきたいと考えています。また、道徳教育や人権教育において他者を意識した行動、他者を思う心を育てていきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いたします。